



令和四年度の取り組み

寮長 生駒哲一

急に暖かくなり、春の訪れを満喫するこの頃です。先日、希望される利用者の方と花見ドライブに出掛けましたが、汗ばむほどの陽気と満開の桜により、一息つく思いでした。

さて、変異を続ける新型コロナウイルス感染症との戦いは三回目の春となります。厚和寮に於いてもできる限りの対策を講じ、我慢の日々が続いています。毎日のように「帰省・外出まだ行けんか？」と問われる利用者の方があります。一月二四日から発令が続く県版コロナ特別警報により、まだ難しい事を伝えると「そうか。」と肩を落として去って行かれます。その姿に申し訳ない気持ちと、早く何とかならないものかと憤りの感情が湧いてきます。更に、昨今の世界情勢。悲しくて、情けなくて気分が落ち込みます。

そんな中、当寮は築五〇年の古い建物ですが、先日何年ぶりに廊下にワックス掛けをしたところ利用者の方から「綺麗になったで」と笑顔を貰いました。ご利用者の笑顔一つで疲れも吹き飛んでいきました。そして、そこに答えがありました。

『私たちの仕事はご利用者に笑顔のなっていたただくこと』出来ないことを嘆くよりも、出来ることをひとつずつやることだ。『出来る対策を講じたなら泰然自若』『不寛容の時代にも凡事徹底』

引き続き、ご利用者・ご家族様にご理解・御協力を頂きながら、安心安全なサービスの提供とご利用者の笑顔のため、根拠に基づいた支援で、ひとり一人のこれまでの人生とこれからの人生に寄り添います。

今年度の重点事業目標

- 一 安定した経営を目指す(目標とする稼働率の達成に努める)
- 二 ひとり一人の自己実現を目指したサービスの提供
- 三 地域共生の土壌作りに努める
- 四 働きやすい職場づくり

新スタッフ紹介



看護師
林 哲子(ふしの白寿苑より)

白寿苑から異動してきました。趣味は山歩きで、モットーは「よく食べ、よく笑い、よく寝る」です。厚和寮の皆様が、健康で楽しく過ごして頂けるよう、お役に立ちたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

支援員

河原 友紀(いこいの杜より)

年齢も年数も重ねてきて思うこと。この人になら思ってもらえるように：一人では何も出来ない。私らしく、新たな場所で、新たな気持ちで。そんな気持ちで厚和寮に暮らす皆様を支える事が出来ればと思っております。宜しくお願い致します。

支援員

谷田 廉太郎(新規採用)

新社会人として厚和寮に勤める事になりました。私は学生時代に実習生としてお世話になり、様々な事を勉強させて頂きました。今度は職員として、学んだ事を活かして仕事に励みます。どうぞ宜しくお願い致します。

作業療法士

西本 智哉(新規採用)

初めまして。四月二五日に入職しました。作業療法士の西本と申します。一日でも早く慣れていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

事務補助

伊藤 順子(新規採用)

四月からお世話になります伊藤と申します。一日でも早く仕事に慣れる事が出来るように頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

お世話になりました

- 理学療法士 田野 舞 (退職)
- 看護師 高田 亜紀子(いこいの杜へ)
- 支援員 下田 敬太 (ふしの白寿苑へ)
- 支援員 田中 紀枝 (友愛寮へ)



お花見ドライブ

今年も四月四日、五日の両日に布勢の『桜の園』へお花見ドライブに行つて来ました。

両日とも好天に恵まれ、心地良い陽気のなか満開の桜を満喫する事ができました。コロナ禍でなかなか外出する機会も少なくなった利用者の方々には、春の香りを存分に楽しんで頂くことが出来たように思います。

今年も少しの時間でしたが、車から降りられる方は野外にて桜を楽しんで頂く事ができました。

帰寮後、「満開の桜は綺麗だったよ。」「いいもんを見てきた。」「気持ち良かったで。」「など笑顔で話される利用者の方々に、職員もほっこりした気持ちにさせていただきました。

鮮やかに咲く満開の綺麗な桜の木の下で、気分もリフレッシュされたお花見ドライブになりました。



琴浦町家森久幸様より

リハビリ最新機器の寄贈

「クロスステップ」は、上肢と下肢の連動運動により運動量増と、車椅子のままでも使用が可能。安全機能の向上により使用対象者も増えました。大切に使用させて頂きます。有り難うございました。



医務室より

先日、当施設産業医の吉田医師から、春先の体調管理について良いお話を伺いました。

「夏バテ」はよく聞く言葉で注意もしますが、この時期は日中の気温差が激しく、交感神経と副交感神経のバランスが崩れ体調不良になる、いわゆる「春バテ」に注意が必要とのことです。

予防するには、バランスの取れた食事、適度な有酸素運動、十分な睡眠、ぬるめのお風呂にゆっくり浸かるなどが有効です。毎日暗いニュースが続いていますが、皆様も無理せず、一つでも楽しみを見つけて、体調に気を付けてお過ごしください。

編集後記

令和四年度がスタートし『青い鳥たより』もリニューアル。紙面を拡大しました。これからも、利用者の皆様の様子を、楽しく、解り易くお届けして参ります。(山下)